

# 婦人会だより

NO.102

内部地区婦人会

JAみえきた女性部

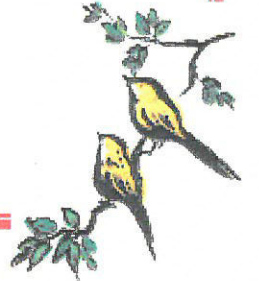
平成 27 年 4 月

会 長 田 中 英 子

“育てよう、心のふれあう婦人会” 結成 69 年目を迎え婦人会の活動を通じて、大切な仲間の輪ができ、かけがえのない絆が生まれたと実感しています。

これからも、地域や他団体との連携を深めながら、ふれあい、たすけあいのある住みよい地域社会づくりを続けていきたいと思ひます。

ご協力、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。



内部地区市民センター

館長 村田 真司

平素より婦人会の皆様におかれましては、内部地区の発展にご尽力を頂き、誠にありがとうございます。

4 月の人事異動で館長と地域マネージャーが新たに着任することとなりました。どうぞよろしくお願ひ致します。少子高齢化の時代を向かえ、住みよい地域社会であり続けるには、婦人会活動がどんなに力になることか知れませぬ。皆様の愛情あふれる思いや地域社会をリードされる元気なパワーのもと今後もさらなる活躍をしていただけるものと確信しています。

地区市民センターといたしましても、最大限の支援をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



会 計 佐藤 純子

4 月の新しい出会いを大切に、みんなで楽しく協力しながら婦人会活動から地域との絆を深めていきたいと思ひます。

今年度、会計をさせていただきます。

一年間どうぞよろしくお願ひします。

JA 三重北内部支店

支店長 渡邊 哲次

平素は婦人会を通じて農協事業にご理解・ご協力頂きまして厚くお礼申しあげます。

4 月より支店長に着任することとなり、支店の顔ぶれも変わり、ご不便やご迷惑をかける事が多々あろうかと思ひますが、宜しくお願ひ致します。

今後も皆様の活躍が、地域女性をより一層豊かで元気になる源となりますようお祈り申し上げます。



副会長

山本 美和子 山中 千代子

新緑が美しい季節に 27 年度の活動がスタートしました。

婦人会離れのなか、約 150 名の会員が、仲良く地域で活動できる事を、私達は誇りに思ひます。これも、会長が 34 年間もの永い間皆を引っ張って下さったお陰と、感謝しております。我々二人は、微力ながらも活動のお手伝いをさせていただきます。皆様のご協力宜しくお願ひ申し上げます。

福祉部



三田村弘子 太田悦子 坂崎直江

27年度福祉部新しいメンバーで出発します。福祉講座など、さまざまな活動に参加し、地域の皆様とのふれあいを深め、楽しい一年間を歩んでいきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



人権協 堀 須美子

人権協の役を頂いてから随分経ちました。しかしまだまだ教えて頂くことが多く、自分の未熟さを実感しています。

今年もよろしくお願ひします。

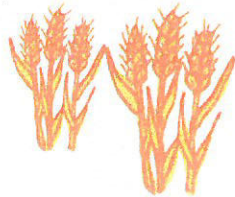


北小松 堀 須美子 堀 列子

今年婦人会創立 69 年を迎え、婦人会だよりは 100 号を超えました。継続は力なりと言ひますが、婦人会は継続だけではなく実績も伴った素晴らしい会だと思ひます。

会長始め本部役員の方々のご指導の下、またこの一年を過ごしたいと思ひます。

どうぞ宜しくお願ひします。



南小松 伊藤奈恵美 三谷初美

婦人会活動も経験不足のなか、このような大役を務めさせてもらうことに、不安や戸惑いもありますが、新しい出会いを大切に、楽しく行事に参加させて頂きたいと思ひます。

役員の皆様方にご指導頂きながら、一年間頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

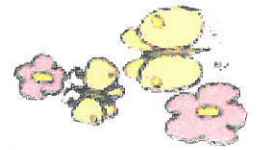


会計監査

桜井万亀子 宮田千佳代

婦人会活動も新しいメンバーでスタートです。新しい出会いに感謝し、様々な行事に進んで参加して、充実した一年にしたいと思ひます。

宜しくお願ひ致します。



広報 堀 列子

“行動力と団結力のある内部婦人会”

を綴っていきます。

ご協力宜しくお願ひします。



采女 坂崎 直江 佐藤 郁子

4月2日総会を開きました。アルファ米のお昼をいただいて午後ゴキブリ団子作り、34名の会員さんがおしゃべり・笑い声とともに手早く後かたづけ掃除と、あっという間に終わりました。一人ひとりの力は小さくても、大勢が集まればやっぱりすごいと改めて感じた一日でした。

采女婦人会は今年も元気です。



貝家 桜井万亀子 有竹正子

人と人の繋がり大切さをつくづく感じる今日この頃。今年度、婦人会の役をさせて頂くことになり、町内はもちろん他の町や地域にも関心を持っていきたいと思ひます。婦人会本部の方々や町役員の方々にご助けて頂きながら楽しんで一年間頑張っていきますのでよろしくお願ひします。



小古曾 野口治代 村尾真佐子

地区婦人会の会員としては、長年所属していましたが、その活動内容もよく把握しておらず、未熟な私達ですが、先輩役員・会員の方々にご指導、ご協力頂きながら一年間頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 27年度 事業計画

月	内容	月	内容
4	ゴキブリ追放運動	11	地区文化祭 (11 / 1)
5	内部小支援ボランティア (5月～計8回)		福祉バザー
			JA 女性部一泊旅行
			防災訓練 (11 / 29)
7	内部川清掃 (7 / 5)	12	お正月料理
	宝塚観劇 (7 / 25)		手作りみそ普及 (12月～2月)
8	四日市まつり		
	子供クッキング		
9	交通安全マスコット配布	1	女性部のつどい
	敬老会	3	反省会
10	グランドゴルフ		総会

**【備考】**

★役員会 (必要に応じて)	★女性講座 (各地区)
★大正琴 (月2回)	★地域福祉活動
★婦人会だより発行 (4・9・3月)	★人権学習

田辺聖子 (たなべ せいこ)

1928年 大阪生まれ

1964年 第50回芥川賞受賞  
『感傷旅行』

1987年 第26回女流文学賞

1993年 吉川英治文学賞受賞

1994年 菊池寛賞受賞

1998年 第50回読売文学賞  
第26回泉鏡花文学賞  
第3回井原西鶴賞 他

1995年 紫綬褒章受章

2000年 文化功労章

2003年 蓮如賞受賞

2006年 朝日賞受賞

2008年 文化勲章

2009年 第26回日本放送協会  
放送文化賞受賞

50年を超える作家生活

たよりにしてる

たよりにしてる、と  
言うコトバのヒキダシでは、  
「愛」  
に分類されている。  
(オバはん、たよりに  
してまっせ・・・) というのは、  
私のヒキダシでは  
(愛しています) の中に  
ファイルされるのである。

『苺をつぶしながら』  
(田辺聖子エッセイ集より)

(女性がいきいきしているのは、こういう事ですね。)

4月2日 JA 内部支店に渡邊哲次支店長を迎え、川森有紀生活指導員に婦人会を担当して戴き、27年度内部婦人会がスタート致しました。また、内部地区市民センターには、村田館長が着任され69年目を迎える婦人会は、ますます地域の皆様と“きずな”を持って、地域社会づくりに活躍していくでしょう。皆様のご協力お願い致します。 (K・Hori)